

特徴：精巧な印刷技術によって、天然石の質感を忠実に再現した壁面用シートです

選択上の注意

- 本製品は垂直壁面用途専用です。天井への施工はできません。
- 衝撃を加えると破損する可能性があります。特に四方の角は欠けやすい為、取り扱いには丁寧に行ってください。

下地・割り付けの確認

- 施工前に、下地の汚れ、ホコリ、油分の除去を行ってください。
- シートの裏面が汚れている場合は、ウエス等できれいにしてください。
- 下地面に旧塗膜が残っており、浮きや剥がれなどが発生している場合には、はつり除去を行ってください。
- 下地に目立つ不陸や突起、ヒビなどがある場合は、適切な下地処理を実施してください。
- 施工前に仮並べを行い、全体の色目や柄のバランスを取ることをおすすめします。
- ALC 伸縮目地部など、伸縮の大きい下地位置に対して、それをまたぐように本製品を施工するとクラックや割れが起きやすくなります。またぐことがないような割付を行ってください。

切断について

- タイルはカッターで切断加工が可能です。加工する場合は原則タイル表面側から刃を入れてください。深さ方向に 2/3 程度までカット後、切断面をくの字に折り曲げることで切断が可能です。切断は糊付け前に行ってください。
- やむをえず裏面側からカッター刃を入れる場合は完全切断するようにしてください。完全切断をしないと、表層にバリが発生することがあります。

保管について

- 直射日光を避け、高温多湿（温度 40℃超、湿度 70%超）の場所に保管しないでください。
- 立てかけ保管は反りや破損の原因となる為、絶対に行わないでください。

使用上の注意

- 内装装飾材としての利用を想定していますので、直射日光が常時照射される場所、風雨にさらされる場所、屋外における使用には適していません。
- 本製品は折れ癖などがついて残ることがあります。その場合は常温環境下で平面に半日ほど静置してください。
- 本製品は伸縮に乏しい為、不陸隠蔽性に強い反面、下地追従性は高くありません。下地の寸法精度が悪い場所に施工する場合は、適切なサイズにカットして使用するようにしてください。
- 低温環境下では固くなる性質がありますが、温度が上昇すれば元に戻ります。雰囲気温度 5℃以下での施工は控えてください。
- R 曲面に対しても施工可能ですが、φ200 以下の R 曲面への施工では表面にひび割れが生じる可能性があります。

miraslate

施工について

- 目地有り、突き付けのどちらでも施工可能です。
- 目地有りの場合は目地底に色付けをおすすめします。目地底はマスキングテープやリアテック、塗料（油性がおすすめ）等で要望の色で壁面に目地底を処理してください。目地底の処理は巾 2～3cm 程度をおすすめします。
- 接着剤は、ミックス糊（BB-304）をおすすめします。

① 養生

- ・施工前には常温（10～25℃）に保たれた室内の平滑な場所で静置し、反り等を取り除いてください。

② 下地処理・レイアウト

- ・施工前に下地面および本製品裏面に付着している汚れ（ホコリ、油分等）はウエス等を使用して取り除いてください。

③ 接着塗布

- ・糊は均一に塗布し、糊ダマリにご注意ください。糊付けは手塗りをおすすめします。糊付けは材料側、下地側のどちらに塗工しても構いません

- ・糊付けは 130g/m²～150g/m²、オープンタイムは 10 分～15 分程度をおすすめします。オープンタイムは温度や湿度にも左右されますので、現場環境に合わせて調節してください。

- ・均す際に接着剤を掻き取らないように注意して下さい。接着剤の量は不足すると接着力が弱くなり、端部の浮きの原因になります。また、接着剤を塗布した場合もシート貼り合わせ後に目地部から接着剤がはみ出してしまうので注意してください。

- ・レーザー光等で水平・垂直を確認しながら本製品を貼り合わせ、ウレタン製のローラーを使用して、しっかりと圧着してください。ローラーがけは目地をまたいで行わないでください。

- ・目地からはみ出た接着剤がローラーに転移することで、シート表面を汚染する事があります。タイル表面に糊が付着した場合は水を含んだマイクロファイバーウエスで拭き取った後、乾いたマイクロファイバーウエスできれいに水分を拭き取ってください。

- ※圧着は不十分な場合、浮きや剥離の原因となってしまうのでご注意ください。

- ※金属製ローラーはタイル表面を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

- ※表装をハンマーで直接たたいた場合もタイル表面を傷つけてしまう恐れがある為、注意してください。

④ 端面処理

- ・出隅部には SUS 製のコーナー材を取り付けて施工することをおすすめします。

- ・施工後の端面についても、見切り材の取り付けをおすすめします。

- ・コーキング材により端面処理を行う場合にはマスキングテープによる事前養生を行った後にコーキング材を塗工し、目地ヘラや筆等で表面を平滑にした後、コーキング材が硬化する前にマスキングテープを剥離してください。

miraslate

推奨副資材リスト



○鉛筆・色鉛筆
補修用



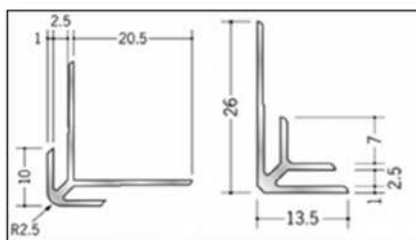
○クーピーペンシル
補修用



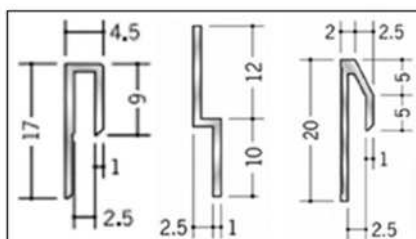
○コーキング剤
ジョイントコーク・A (40色)/ヤヨイ化学工業株式会社
補修用



○瞬間接着剤
補修用



○出隅材・入隅材
出隅材：アルミ DA-2.5/株式会社創建
入隅材：アルミ BF-2.5/株式会社創建



○見切材
アルミ ZT-2.5/株式会社創建
アルミ TMT-2.5/株式会社創建
アルミ 2.5CS/株式会社創建

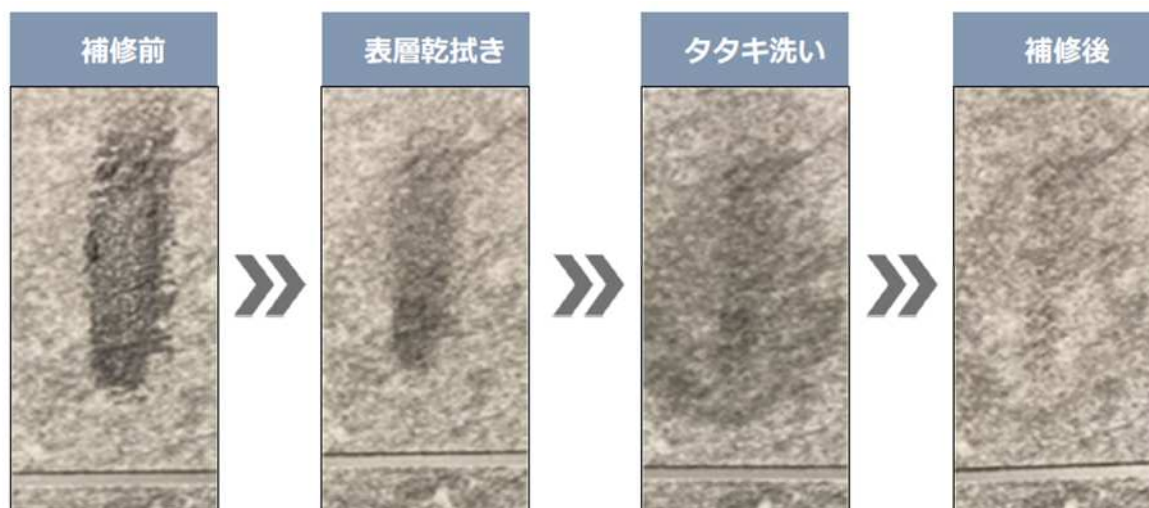
miraslate

補修方法

① 接着材がシートに付着した場合

ウエス等で塗り広げないように注意しながら接着剤をおおまかに除去した後、乾いたウエスできれいに拭き取ってください。ラッカーシンナー等の溶剤を染み込ませたスポンジでこすらずにタタキ洗いをするより効果的です。更に歯ブラシを併用することも効果的です。

※本製品の表装を溶剤で擦らないで下さい。シート表装が脆くなり、崩壊してしまいます。



② 表面に傷が付いた場合

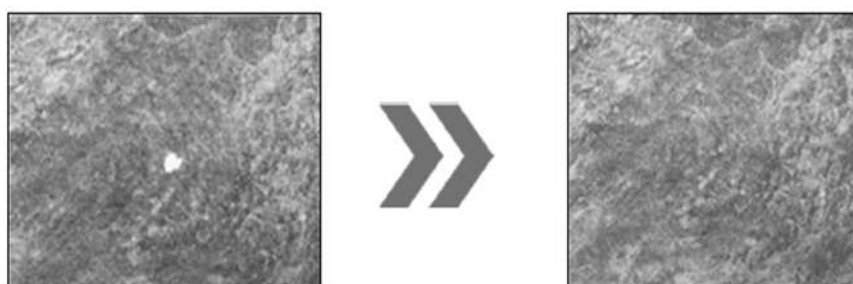
(1) 軽微な傷や擦り傷

色鉛筆で柄をタッチアップ（修正）後にジョイントコーク（クリア）を薄く塗布してください。



(2) 軽微な穴埋めや打痕

クレヨンやクーピーペンシルで穴埋めした後にジョイントコーク（クリア）を薄く塗布してください。



施工要領書

miraslate

③ 端部が欠けた場合

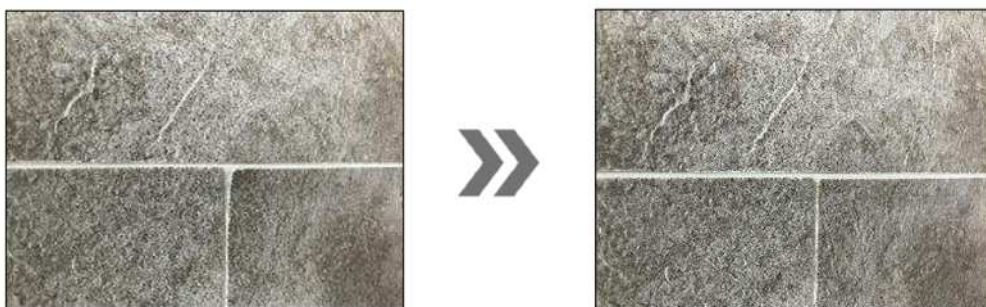
乾燥型のパテや紙粘土等で欠けた部分を補修し、色味の違いが目立つ場合はクーピーペンシル、クレヨン等でタッチアップを行い、ジョイントコーク（クリア）を薄く塗布してください。



④ シートが浮いてきてしまった場合

（１）端面の浮き

瞬間接着剤を用いて再度接着してください。



（２）中央部の浮き

本製品は１枚単位で剥がすことが可能ですので、新しいシートを貼り直してください。

※補修箇所の物性は、通常部の物性と同じである事を保証するものではありません。